

学 会 報 告

2014年の「サス学」アカデミーの評価結果について、東京大学大学院の森朋子氏と国立環境研究所の田崎智宏氏が執筆した論文が日本環境教育学会誌「環境教育」の第25巻 第3号に掲載されました。

この論文では、「サス学」アカデミーの効果について、以下のように紹介されています(論文の一部を要約)。

- プログラム参加者にとって、「サス学」アカデミーでの学びが新たな分野や興味に関心を持ったり、新たな考え方・視点に気づいたりするきっかけとして機能していることが示唆された。
- 最後のグループ発表は社内の大きな会議室で行われ、プログラムに興味を持った三井物産の社員も大勢見に来ていたため、学校での発表とは異なる環境及びメンバーでのプレゼンテーション経験が、参加者に程良い緊張感と達成感を与えたと考えられる。
- 「サス学」アカデミーのようなノンフォーマルプログラムは、フォーマル教育(学校での教育等)の場とは異なるメンバー及び環境下でありながらも、同じような興味・関心を持った者同士を集められる良い機会であることから、特定分野の知識や関心を高めるだけでなく、コミュニケーションスキルを養う教育の場にもなり得ると考えられる。

「この論文は日本環境教育学会誌『環境教育』第25巻第3号に掲載されており、その著作権は日本環境教育学会に帰属しています。この論文の転載にあたっては日本環境教育学会の許可を受けています。」